



7 研研第 1 号

(令和 8 年 3 月)

発行：宇治市乳幼児教育・保育支援センター

アドレス：nyuyoajcenter@city.uji.kyoto.jp

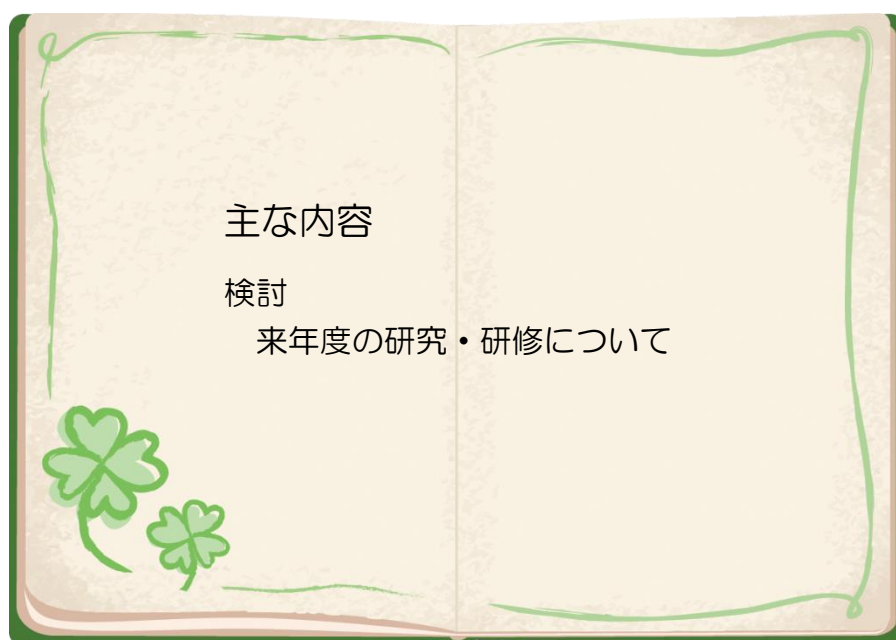


乳幼児教育・保育推進事業 通信 ～令和 7 年度 研究・研修専門部会～



令和 8 年 1 月 30 日（金）に、令和 7 年度宇治市乳幼児教育・保育推進協議会
研究・研修専門部会を開催いたしました。

部会の様子をお知らせします。



専門部会とは



「研究・研修」「保幼小連携」「発達・子育て支援」の推進にあたり、現状の把握、課題抽出、対応策の検討、研究・研修の企画実施等について、乳幼児教育・保育の実務をよく知る職員の意見を反映できる仕組みとするために設置したもの。

○検討

◇来年度の研究・研修について

- 学生の研修への参加は良い考えだ。その場合はグループワーク形式の方が現場の先生の話聞くことができ刺激にもなる。
- 研修の参加者や、公開園にとって負担感が無く、意義があったと実感できるような研修を作り上げていきたい。分野を分けず一体的に取り組むことが重要である。
- 研究事業について、研究の過程にも他の園の保育士等が参加できるような仕組みにして、往還的に取り組む事業として検討したい。
- 保育や授業の様子がわかるものを持ち寄って、自分の実践を語ることは、先生も生き生きと話をする姿が見られる。
- 画像等で、子どもの様子が写っていないなくても、園の環境がどうなっているのかを見るだけでも良い。
- エピソードを持ち寄って話し合うことをしているが、動画や写真等のドキュメンテーションを持ち寄って、その場面について語り合うことも良い。
- 研修の時間帯は、15時から17時が比較的良好い。
- 保育と食育は関わりが大きいと思うので、「食育」をテーマにしたエピソードを持ち寄って保育を語り合う研修を考えてはどうか。
- 睡眠の重要性について、保育士等が学ぶ機会があっても良い。
- 園内研修を持ち寄るという形だと他市に行かなくてもよい。
- 対面研修は、オンデマンドよりもお互いの熱量や言葉のニュアンスが伝わりやすい。



宇治市乳幼児教育・保育支援センターとは

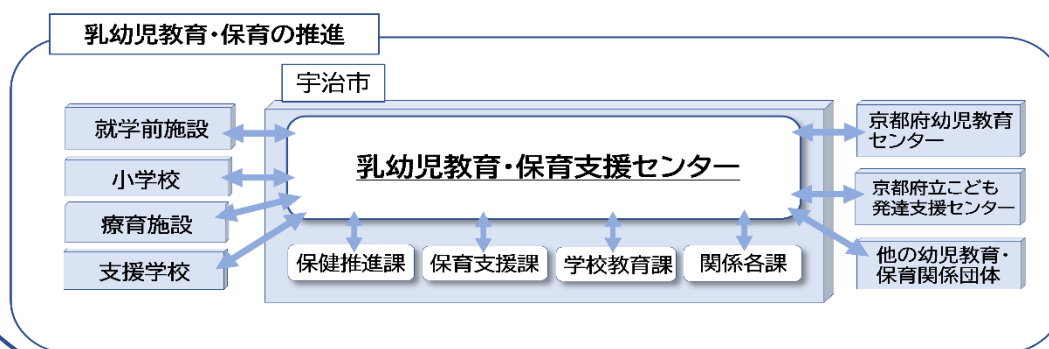
宇治市乳幼児教育・保育支援センターは、全ての就学前施設が施設類型を越えたネットワークを構築し、乳幼児期の子どもたちの状況や課題を共有するとともに、将来を担う子どもたちが健やかに成長できるよう、次の3つの機能に基づく施策を推進することにより、保育士、教諭等の人材育成を図り、もって乳幼児教育・保育の質の向上に資することを目的として、令和7年4月に開設しました。

<3つの機能>



宇治市では、センターにおいて、就学前施設、小学校、療育施設及びその他の関係機関が連携・協働できるようコーディネートすることにより、施策を推進します。

<連携・協働のイメージ>



宇治市乳幼児教育・保育推進協議会とは

すべての就学前施設が施設類型を越えたネットワークを構築すべく、乳幼児期の子どもたちの状況や課題を共有し、連携、協働して研究・研修を行うことで、教育・保育の質の向上及び人材育成を図るとともに、各施設間、家庭・地域の教育・保育力の確保・向上を支援するため、設置したもの。